

私はこうして「退職」に追い込まれた

「新卒切り」当事者たちの告白

長期にわたる就職活動の末に入社した会社で、直後に「退職」を促される。そんな悪夢が、現実になっている。転職市場で、会社との裁判で、それぞれに闘う当事者3人が、自らの体験を語った。

ライター 木村礼子



会社と係争中の男性(25)の場合

- 2006年10月 就活開始
- 07年9月 3社の内定を得るが、活動中にやりたいことが見つかって志望変更。内定を断って就活を再開
- 07年11月 土木関連企業の求人に応募。九州支社で面接と筆記試験を受ける
- 08年1月 東京本社で社長を含む役員面接を受け、2週間後に内定の電話。後日、書面も受け取る
- 08年3月 大学卒業
- 08年4月 土木関連企業に入社。9月までの6カ月間は「見習い期間」と言われる
- 08年7月 解雇

6月25日、係争中の男性は都内で、支援を求めるピラを配っていた。入社したとき感じた「人生に道筋が見えたような安堵感」が忘れられない

こざっぱりとしたTシャツに綿のパンツ姿。早朝から荷物仕分けのアルバイトをしてきたという女性(23)は、記者を見つけると駆け寄ってきて、「遠くまで来ていただいてありがとうございます」と頭を下げた。

彼女は今年3月に関西の大学を卒業し、4月にとある公益法人に入社した。就職活動を始めたのは3年生の夏

休み。4年生の5月に最終面接までいった第一志望の企業に不採用となり、気落ちしたせいかその後、内定が取れずにいた。卒業を目前に控えた今年3月にな

って、求人サイトで見つけた公益法人に履歴書を送るとすぐ面接に呼ばれ、本社で一度面接を受けた3日後

公益法人を退職した女性(23)の場合

- 2008年8月 就活開始
- 09年5月 第一志望の企業に最終面接で落ちる。その後、10年2月まで就職活動を継続
- 10年3月 公益法人の求人に応募。履歴書と1度の面接で内定。大学を卒業
- 10年4月 公益法人に入社
- 10年6月 「自己都合」による退職

に、内定の電話があった。それまで苦労してきただけに「簡単すぎる」と感じたが、卒業前に就職先が決まったという

安堵感の方が大きかったと彼女は言う。3カ月後にこの会社を「退職」することになるとは思いもしなかった。彼女は、「新卒切り」にあったのだ。「新卒切り」の詳細は後に譲るとして、彼女が「退職」に至った経緯はこうだ。

「いつまで続けるのか」

入社後、3カ月は試用期間であること、事務の知識や顧客対応に関する2週間の研修があること、研修終了後の確認テスト

に合格することが配属の条件であることを説明された。その確認テストで、彼女は「不合格」になる。上司は、「自分の言葉で書いていない」「やり方を直さなければ、何度テストをしても受からない」と繰り返し。その後には雑用をさせられ、ことあるごとに「聞いたことは一度で覚える」「自己判断ばかりするな」と叱責された。やがて、上司のそばへ行くと手が震えるようになっていた。

5月半ばには上司に呼び出され、「テストに合格しないまま正式な仕事に就けない状態をいつまで続けるのか」と問いただされた。彼女が、この状態を続けるのは難しいと答えると、「辞めるといふことでもいいんだな」と畳みかけられ、思わず、「はい、と答えていました」ほどなく正式に退職を勧められ、「自己都合退職」の書類にサインした。

「内定切り」より痛手

いまも毎日、夢に上司が出てくる。自分の叫ぶ声で目が覚めることもある。やっと、資格取得の勉強を始めたところだ。彼女はうつむきながら言った。「早く働かないと路頭に迷いますから」

新卒で入社した社員が、試用期間中に解雇や退職に追い込まれるのが「新卒切り」だ。

2008年秋のリーマン・ショック後、企業が09年4月入社予定の大学生の内定を取り消す事態が相次いだ。これが「内定切り」と言われて社会問題化し、厚生労働省は09年3月と4月に、悪質なケースと判断した15社を公表した。厚労省によればその結果、10年4月入社予定者の「内定切り」は減少、今年企業名の公表もされなかった。

NPO法人労働相談センターの須田光昭さんは、企業が「内定切り」を「新卒切り」に切り替えた面もあると見ている。今年4月から6月半ばまでに、30件を超える「新卒切り」の電話相談を受けた。杜撰な採用計画の修正が目的の企業にとっては、「内定切り」も「新卒切り」も同じことなのだ。

しかし、学生にとっては「新卒切り」のほうがダメージが大きい。日本企業ではまだ「新卒一括」が採用の基本だからだ。「新卒切り」されてしまえば、

履歴書に「短期間での離職」という「傷」を持ちつつ、既卒者として転職市場で勝負することになる。複数の私立大学が「内定切り」にあった学生のために、授業料を減免した上で在籍を認める就職留年制度を設けたのは、「新卒」の肩書を失わせないためだ。

実態は「解雇」なのに

法律上は、内定者も試用期間中の新卒社員も「労働契約下にある労働者」とみなされ、「合理的でない理由や社会通念上相当ではない理由による解雇は無効」(労働契約法第十六条)とされている。しかし、この法律には罰則がない。「内定切り」なら厚労省職業安定局若年者雇用対策室に相談窓口があるが、「新卒切り」については「あくまで労使で誠実に話し合いをつくしていただきたい」(厚労省労働基準局)と話すのみだ。裁判で「解雇無効」を求めることもできるが、冒頭の女性のように、実態は「解雇」なのに書類上は「自己都合退職」とな



れば、それも難しい。実際、解雇の撤回を求めて訴訟を起こした男性(25)に会った。九州の私立大学で土木工学を学んだ。07年11月に地盤改良に実績を持つ土木関連企業の求人を見つけ、履歴書を送って電話するとすぐに面接に来るよう言われた。九州支社で面接と簡単な筆記試験を受け、08年1月には東京本社で役員面接。2週間後には、内定に至った。08年4月、技術職の同期8人とともに大阪本社に入社。半年

間は見習社員だと言われ、最初の1週間は座学、翌週からは工場内で機械操作実習に参加した。7月半ばには同期のほとんどが正式に配属されたが、男性ともう一人は研修の継続を言い渡された。後にこの2人が会社を去ることになる。

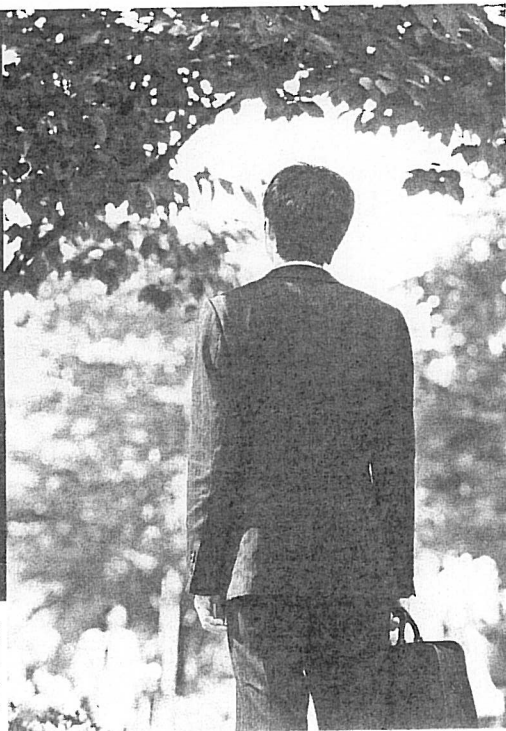
退職願が不採用通知か

男性が退職勧告を受けたのは、研修継続から間もない7月29日。既に母親に電話で伝えたところ、一睡不足によって集中

自宅待機1年の後に退職した男性(24)の場合

2007年11月 就活開始。08年夏までに30~40社を回るが、不採用が続く
08年9月 IT関連企業の説明会に参加。数日後に希望者対象の試験を受け、面接に進む。1週間後に技術職での採用内定通知が郵送される
08年2月 内定者懇親会に参加
08年3月 大学卒業
08年4月 IT関連企業に入社。試用期間は本来3カ月だが1カ月に短縮されると言われる
08年5月 業績悪化を理由に自宅待機者が出るという警告を受け、後日、面接で待機を言い渡される。自宅待機通知書も渡される
10年4月 「会社都合」による退職

合同説明会に参加した男性は、「就職できたら今度こそ活躍したい」と胸を張った。ピンストライプのスーツはすぐに、街に溢れるビジネスマンの群れに紛れた



力が欠けているので、現場に出るとケガをする可能性がある」ことが理由だと説明された。

男性は、研修中、確かに睡眠不足の時期があり、屋外で眠気に襲われたことはあるが、居眠りをしたことはないと話す。研修を続けたいと訴えたが、会社は「決まったことだ」の一点張り。退職願を出すか、会社から不採用通知を送るか、選択を迫られた。男性は結局、「退職願は書けない。通知を送ってもらったほうがいい」と言いつて、7月31日付で事実上、解雇された。その後、個人が参加できる労働組合「なまこユニオン」に参加。2度の団体交渉を経て09年6月、解雇撤回を求める訴訟を大阪地裁に起こした。



ここ10年、入社して3年以内に退職する大卒の新入社員の割合は30%台で推移している。安易な退職に苦慮している企業が多いこともまた、現実だ

度注意して起こしても数分後にはまた居眠りを始めてしまう」とし「睡眠時間を十分とるようくり返し指導を行ったが、改善をはかろうと努めていたとは見受けられず、居眠りの状態が徐々にでも改善していたという事実もない」「工事現場において重大事故を引き起こす危険が相対当の蓋然性をもって認められ

る」と主張している。本誌の取材には、「この件につきましても係争中ですので、当社としては特に申し上げることはありません」と答えるのみだった。男性は言う。「同世代の人を見ると、みんな仕事を頑張っ夢に向かっていのに、自分は学生時代から一歩も進んでいない、まだスター

同期40人全員が退職
09年4月に、従業員2000人規模のIT関連企業に入社したが、採用予定は30人と聞いていたが、同期は40人。1カ月の試用期間が終わる5月初めに、「不景気で業績が悪く、自宅待機にせざるを得ない」と言い渡された。1年に及んだ自宅待機の間、毎月の給与は手取りで6万7千7万円。家賃と光熱費を支払うのが精一杯で、生活はアルバイト

で賄った。今年4月に人事部長と面談し、「相変わらず仕事が取れず、人件費を見直す必要がある。会社都合の退職にしてもらえないか」といわれた。結局、同期40人全員が退職した。彼に取材したのは、教育研修・人材紹介会社ジェイックが、短期間で離職した新卒者向けに開いている「営業カレッジ」に参加し、企業の合同面接会を終えた直後だった。今度はもつと慎重に、長く働きたい会社を見つけたと前向きだ。男性に限らず取材した3人に共通するのは、入社した会社の選考が、いずれも非常に簡単だったということだ。この男性は言った。「早く仕事の場で活躍したい。安定して働ける場所がないと、人生が面白くないですから」

男の子かな？ 女の子かな？ お好み焼。



7 雨の日は、
団らんがおすすめです。

5	月	
6	火	
7	水	七夕
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	

